

E303（チュウオウソウニュウシテクダサイ）が発生した時の対応手順

富士フイルムグラフィックソリューションズ株式会社

サービス統括部

2023年4月3日

内容詳細

E303は版を挿入した時に、端のセンサーだけがONになった時に発生します。

E303が発生した場合は、以下の手順をお試してください。

このアラームは、Cキーを押す事でクリアされます。

確認事項

- ①入口センサーの清掃（2箇所）
- ②除電ブラシの状態確認

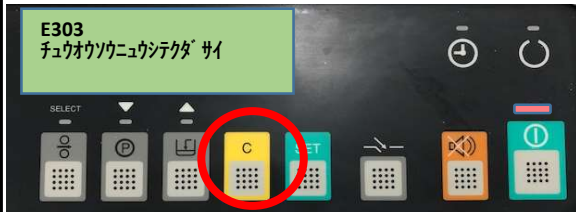
確認手順

このアラームはCキーで解除されます。

注意

保護メガネ、ゴム手袋、ゴムエプロンを着用してください。

①入口センサーの清掃（2箇所）



Cキーを押してアラームを解除します。



電源スイッチをOFFにします。

注意

電源スイッチを操作する時は、濡れた手で触らないでください。



挿入側に付いているセンサーは、中央と挿入側から見て右側の2箇所あります。



中央センサーの位置は、▼の位置です。



右側センサーは、挿入間口の切り欠きの上にあります。



センサーの検出面は下に向いています。左のように、綿棒などを使用して、下から上に向けて清掃します。

②除電ブラシの状態確認



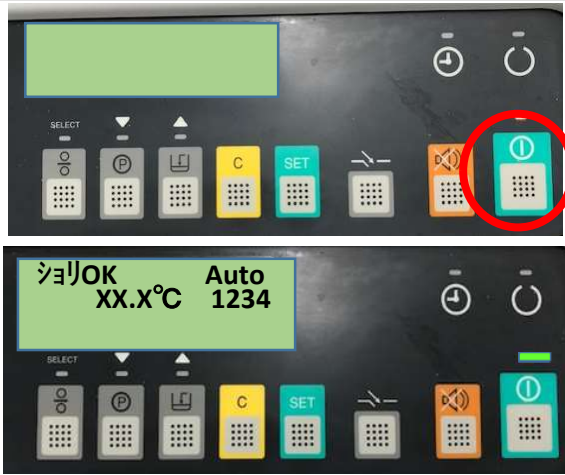
挿入間口に付いている除電ブラシを確認します。毛先が薬品などで固着したり、経年で癖が付き、センサー側へ倒れると、センサーが反応してしまいます。その場合は、除電ブラシの毛先がセンサー部分に干渉しないように、ハサミなどを使用して干渉している部分をカットします。



電源スイッチをONにします。

注意

電源スイッチを操作する時は、濡れた手で触らないでください。



初期化動作が終了したら、運転キーを押して運転を開始します。

シヨリOKになりましたら、版を処理してエラーが出なければ、そのまま使用してください。

再度エラーが発生する場合は、修理が必要です。その場合は、コールセンターへ連絡してください。